

句を詠み山根の豊かさ実感

第1回水車まつり俳句大会を開催

今年最後のくるま市が開かれた12月7日、第1回水車まつり俳句大会（山根六郷研究会主催）が開かれました。会場は11月に開設した山根六郷写真美術館ラボ。市内外から集まった俳人21人が山根の情緒豊かな自然や人の温もりを題材に思い思いの句を詠みました。



自分の句の評価も気に留めながら選評結果を書き取る参加者

「剣舞の子等に新雪ひかりけり」を詠んで久慈市長賞を受賞した宮崎芳子さん（八戸市）は「子どもたちが寒い中頑張って踊っていたのが印象的で詠んだ。また山根で句を詠んでみたい」と笑顔で再来を誓っていました。



「触ってみる？」サケの頭にドッキドキ



魚市場にずらりと並んだ魚に興味津々



「海だー！」横沼展望台からの美しい眺めに興奮しながら記念写真



次々とサケが水揚げされる様子に参加者は釘付け

久慈はよいとこ またおいで

団塊世代視察ツアーを実施

本市への移住を考えてもらうため首都圏などの方に本市の豊かな自然や食を体感してもらう団塊世代視察ツアーは12月5日～7日、3日間の日程で開催されました。東京都や千葉県などから14人が参加。参加者は琥珀のアクセサリ作りや木工体験にそば打ち体験、牛舎の見学などを通して久慈の豊かな自然や食文化に触れました。6日は早朝から久慈港で定置網船の水揚げを見学。その後の浜番屋での朝食では新鮮な魚介類を味わい、目と舌で海のありがたみを実感していました。

東京に住む娘と孫を連れて3人で参加した星野和子さん（千葉県鎌ヶ谷市）は「海や山で働く人の生の姿を見て一次産業の大切さを実感した。地元の人と触れ合うこともできてとてもいい。今度は夏に来てみたい」と久慈の自然と温かい人柄にすっかりほれ込んだ様子でした。

広報リポーターがまちの話題を紹介します！

飲酒運転防止にご協力を！



飲酒運転防止を呼び掛ける隊員ら(左)

交通安全や防犯を呼び掛ける年末年始特別警戒は12月15日から1月3日まで実施。初日の15日、市交通指導隊（熊谷好行隊長）の隊員らは市内の飲食店などを回り飲酒運転防止の啓発活動を精力的に行いました。（生平隆リポーター）

大川目で知事と町づくり語り



大川目公民館で膝を交えて懇談する出席者

12月11日、県政懇談会で達増拓也県知事と大川目まちづくり協議会（山口健一会長）が町づくりについて意見を交わしました。達増知事は備前組の手作り山車や山口柿などに興味津々。終始和やかに懇談が行われました。（小倉利之リポーター）

勝利はすぐそこ 引き寄せろ！

少年防犯ふれあい綱引き大会を開催



見事なチームワークで、優勝を引き寄せた小久慈プレイヤーズメジャー

第24回少年防犯ふれあい綱引き大会（久慈地区防犯協会連合会主催）は11月29日、市民体育館で開催されました。1チーム10人で男子（男女混合）と女子の2部門が行なわれた大会には、久慈地区のスポーツ少年団や小学校など23チームが参加。選手は「ソーレイ！ソーレイ！」と大きな掛け声に合わせて力の限り綱を引き合っていました。

10人中7人が女の子なのにも関わらず男子の部に3位に輝いた霜畑小学校の清水川美幸さん、久保歩さん（ともに6年）は「前に負けた荷軽部チームに勝つことを目標に1カ月練習してきた。荷軽部に勝って入賞できてうれしい」とニコリと満足気な表情を浮かべていました。

笑顔に実感 母の愛

フィリピンからの転入生を囲んでクリスマス

フィリピンから来日し、久慈小学校（菅原末広校長）で学んでいる児童4人と、児童に勉強や生活習慣を教えている先生やPTAボランティアらは12月16日、同校でクリスマス会を開催。児童の母親も招待して交流を深めました。児童と母親が仲良くクリスマスソングを披露して会がスタート。ビンゴゲームも行うなど、みんな一緒になって楽しい時間を過ごしました。会の最後には4人の児童が「これからもよろしくお願いします」とお礼のあいさつ。先生やボランティアらは笑顔と拍手で応えていました。

PTAボランティアの中村ゆかりさんは「知らない国に来て苦勞もあるだろうが子どもは皆明るく元気。今日はお母さんと一緒に笑顔がひととき輝いていた。改めて母親の存在の大きさを感ずる」と仲の良い親子を優しく見守っていました。



ビンゴゲームもお母さんと一緒に楽しさ倍増

海の生き物にもう夢中！

もぐらんぴあが麦生小中で出張水族館



「へえ～すごーい！」間近で触れるハリセンボンに生徒も先生ももう夢中

もぐらんぴあ（山崎毅館長）は11月26日、麦生小中学校（名古屋健校長・児童生徒9人）で出張水族館を開催しました。会場のホールにはカブトガニやドクターフィッシュなど珍しい生き物が入った水槽がズラリ。久慈港で水揚げされる魚の紹介やスタッフへの質問コーナーのほか、実際に生き物に触れる時間も設けられ、子どもたちは好奇心で目を輝かせていました。

もぐらんぴあのスタッフにたくさんの質問をぶつけていた坂本龍くん（小5年）は「タツノオトシゴが魚ということにビックリ。いろんな魚に触れて勉強になった。今度はもぐらんぴあに行ってみよう」と海の生き物の不思議に夢中になっていました。